
最近の研究所の動き

■構造計算適合性判定センターから
□2月の判定業務
受付 10件 (13棟)
結果通知 6件 (6棟)

2月の判定依頼は、公共施設では漁港・港湾施設が2件、車庫が1件、民間施設では共同住宅（複合施設を含む）が3件のほか、店舗、ホテル、事務所、集会場が各1件でした。

毎年のことですが、この時期には多数のご依頼を頂いており、図書付事前相談については特にお時間を頂いている状況です。ご依頼頂く皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。

なお、関係する皆様方におかれましては申請図書相互の整合性を今一度ご確認頂くとともに、最新の取扱い（第96号、第100号本稿参照）についてもご留意頂き、円滑な判定の実施にご協力頂きますようお願いいたします。

（構造判定 G 千葉）

※「建築研究本部かわらばん」バックナンバー（第96号、第100号）は、こちらからご覧になれます。

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/koho/newsletter/newsletter.html>

■応急危険度判定コーディネーター研修会を開催しました

去る3月8日、根室市において「被災建築物応急危険度判定コーディネーター研修会」が開催されました。道と北海道震災建築物応急危険度判定根室地区協議会の主催によるもので、災害時に応急危険度判定士や関係機関との連絡調整を行うコーディネーターの人材育成を目的としています。

建築研究本部は、「北海道の地震被害想定に基づいた応急危険度判定活動に関する研究」（平成26～28年度道受託研究）の成果を踏まえて、研修の企画・運営や研修資料の作成などを担っています。

研修に参加した国、道、市町村の職員や建築士会の会員は、グループ別に耐震化率の低い建物が多い地域や、地震の際に液状化の被害が予想される場所などを地図上で把握し、根室沖で震度6強の地震が発生したとの想定で応急危険度判定を行う建物や必要となる判定士の数などを確認しました。

※研究概要はこちらからご覧になれます。

http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/pdf/28gaiyo/H28_5p.pdf

（企画課 盛永）

=====

管理者からのお知らせ

=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。

登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。

メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_n
変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

発行：（地独）北海道立総合研究機構 建築研究本部
<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/index.html>